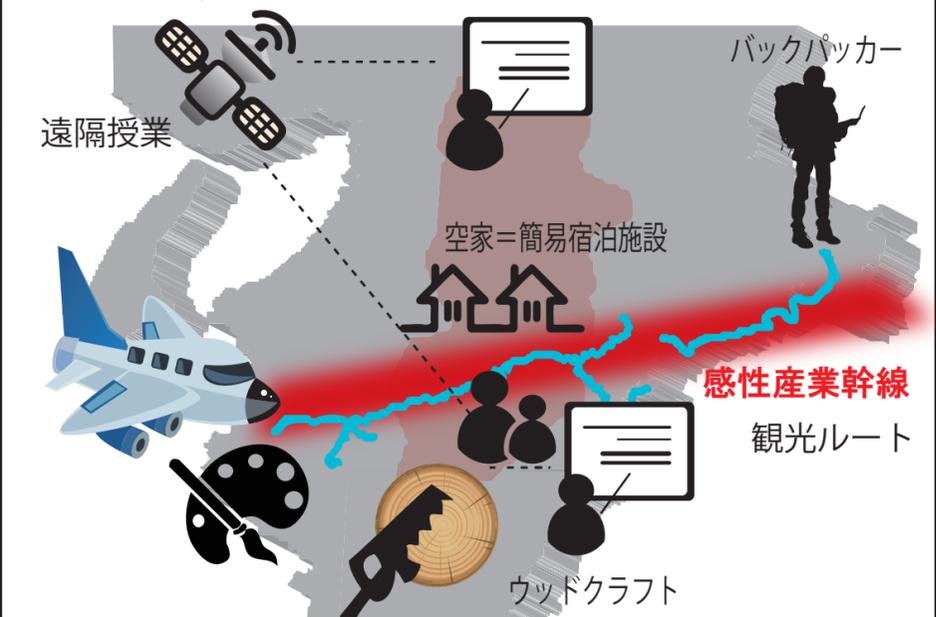


想定する地域未来像  
共創郷育の礎に華開く、感性産業幹線  
デジタルネイティブ世代が  
情報通信技術 (ICT) で拓く未来



大和・紀伊半島地域の地方創生

地域で生まれ  
地域活性化に誇りをもっ  
て貢献できる人材。



やまと共創郷育センター  
COC+ 連携学術機関  
協働連携地域

運営・評価

企画・運営・評価

- ・「地域人」として自己の存在意義を問う
- ・教育的視点から学生活動を推進
- ・地域の想いと教育現場のベクトルを合わせる

奈良の地域未来像  
に向けて取り組む  
提案型プロジェクト。



地域創生プロジェクト科目 A

やまと再生COCセンターへの依頼プロジェクトの推進。



地域創生プロジェクト科目 B

地域の未来像に向かって必要な萌芽的プロジェクトを  
やまと再生COCセンターと自治体が協働にて企画推進する。

<想定科目事例>

- ・環太平洋くろしお海廊文化圏やまと再発見
- ・ウッドクラフトデザイン学
- ・木材コミュニティ学  
地域資材である「木材」でコミュニティを創る  
イベント型プロジェクト
- ・地域密着型 ICT 事業  
高齢者見守り生活支援事業  
歴史文化メディア学  
地域文化コミュニティ学

地域創生理解科目

「なら学」「地域文化と観光論」「地域活性化事例研究学」・・・学生には事業協同地域を想定した地域活性化企画を作成することを課題として与えることで、地域活性化を自らの問題としてとらえ、地域人としての潜在意識を高める。